

旅行動態の変化の状況

旅行動態の変化の状況②

モノ消費からコト消費への移行

娯楽サービス費購入率

2012年：21.5% 2016年：31.6% ⇒ **10.1ポイント増**

外国人観光客の消費支出に占める 娯楽サービス費の割合

2012年：1.1% 2015年：1.9%

〔参考〕諸外国の外国人観光客の消費支出に占める娯楽サービス費の割合
 アメリカ(2012)：10.4% フランス(2013)：7.8%
 カナダ(2014)：10.5%

1人1回当たりの旅行支出

訪日外国人1人1回当たり旅行支出

2012年：13.0万円 2016年：15.6万円 2020年：20.0万円(※)

※2020年4,000万人、旅行消費額8兆円目標の達成のためには、1人1回当たり旅行支出20万円が必要

滞在日数

平均泊数

2012年：12.3泊 2016年：10.1泊

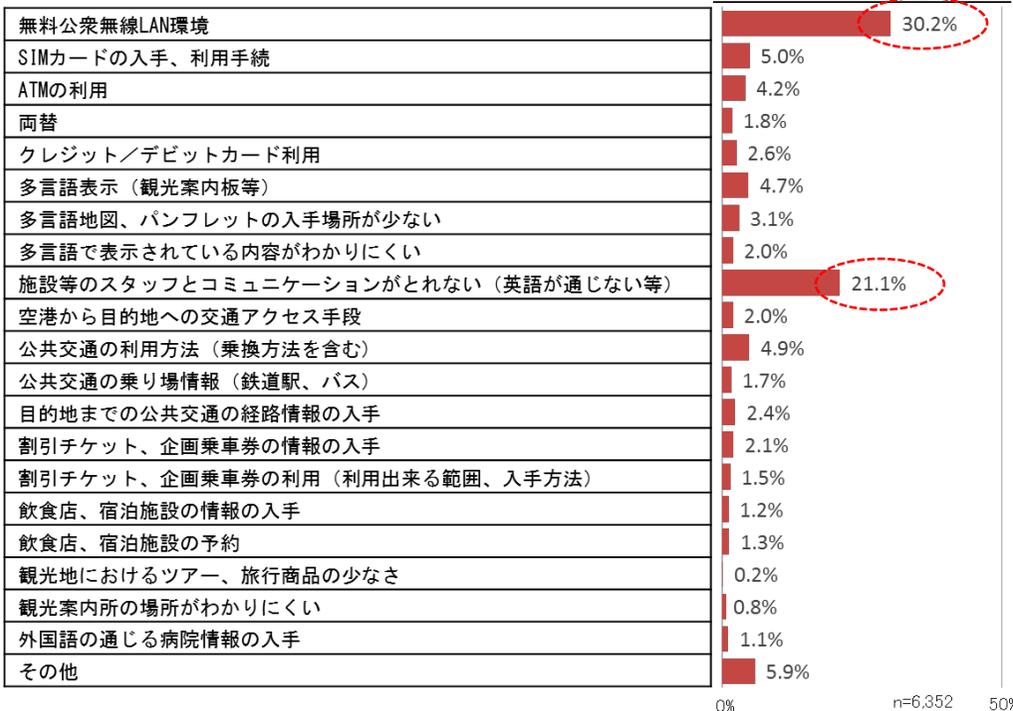
⇒ 「モノ」消費から「コト」消費への移行を踏まえ、国内におけるインバウンド消費をさらに拡大させるため、VR等の最新技術の活用、ナイトタイムエンターテインメントの充実等の施策の充実が必要

旅行動態の変化の状況③

「訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関するアンケート」調査結果

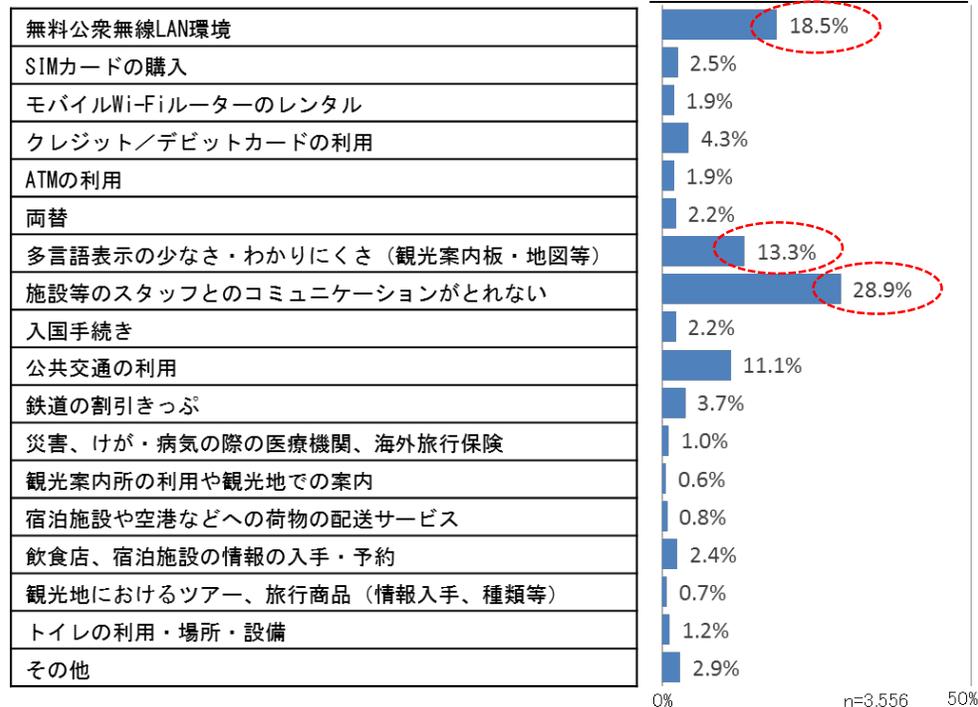
【平成26年度調査】

旅行中最も困ったこと(単回答)



【平成28年度調査】

旅行中最も困ったこと(単回答)



旅行動態の変化に伴い、訪日外国人旅行者が旅行中最も困ったことも変化。コミュニケーションの問題、無料Wi-Fiの整備、外国人に分かりやすい多言語表示等の施策の充実が必要